



## 霜月

落葉の時期も遠のき、雪化粧した山々が、本格的な冬の到来を告げています。今年も暖冬の予報ですが、地球温暖化の影響によるものなら深刻な問題といえます。

皆様におかれましては秋の農繁期も終え、農業機械の点検・整備に取組んでおられると存じますが、十分な点検等を励行下さい。

難航していた平成二十年度の乳価交渉は、飼料価格の高騰に対し早期の価格転嫁は出来なかったものの、生産者の要求が受け入れられました。しかし、今後は飼料価格の値下げ基調が予想されており、二十一年度乳価交渉に悪影響を及ぼすことも懸念されていますが、経営基盤が保たれるよう活動して参ります。



## 上半期の事業実績

# 飼料価格高騰が直撃 生産基盤の維持対策が急務

四月に三十年ぶりとなる乳価値上げでスタートした平成二十年度ですが、飼料価格高騰の影響は大きく、十月からの乳価再値上げを求め関東生乳販連で交渉を重ねた結果、来年三月から飲用乳価が十円の値上げとなりました。そのことを受けて、組合では期中乳価再改定を行い、償還対策の一環として都府県酪農対策交付金の前渡し措置を講じるなど、生乳生産基盤の維持に向けて出来るかぎりの対応を図ってきたところです。

上半期の事業収支については、事業総利益で計画比一一四・八％、さらに事業管理費の圧縮に努めた結果、事業利益で計画比一七三・五％と順調な実績となっております。なお、支払乳価の再改定により前年に比べ十・十一月で四円/kg、十二月から三月で七・五円/kg基準乳価の引き上げを行うことから、下半期は上半期の利益を取り崩した形での事業運営となりませんが、今後とも組合運営について

組合員の皆様のご理解ご協力をお願いし、上半期の実績の概要をご報告いたします。

### 生乳販売事業

生乳生産量は一〇八、九一四tと前年比九九・五％、計画比九八・七％となりました。生乳販売は、四月の価格改定の影響もあり、県内の主要販売先である栃木明治牛乳への販売量が大きく落ち込み、県外販売が六割を上回る実績となっています。関東全体の加工率は累計で六・六％にとどまっております。前年並みで推移しております。成金は、大きな変化として脂肪率が各月とも前年を下回る状況となり、飼料価格高騰への対応がうかがわれます。支払奨励金は、需要期出荷奨励金は前年比九九・四％でしたが、猛暑の影響もあり需要期優良生乳出荷奨励金は前年比七五・四％と前年を大きく下回りました。計画生産は、組合員の割当比は九五・〇％と達成（生産）意欲も後

退しており、関東配分比でも九七・四％と、計画を下回りました。収支は、生乳生産量が計画を下回って推移したものの、計画で見込んだ加工率よりも実際の加工率が低かったことから販売単価が計画を上回り、総利益は計画比で一一四・四％となり、計画に対し減収増益の実績となりました。

### 市乳販売事業

市乳販売は、販路拡大に向け取引先獲得に努めるなか、セブンイレブンと栃木県が提携した「県産品を使用した開発販売企画」に「那須だいきすき牛乳」を使用した商品が定着し、北関東エリアのセブンイレブンでパン・プリンが発売されました。しかし、全国的な飲用牛乳需要の低迷により、市乳の販売数量は、前年比八三・二％、計画比九四・二％にとどまりました。収支は、四月の価格改定を機に卸売価格の適正化に努めるとともに、販売費用の見直しを図ったことにより減収増益で推移し、総利益では計画比一四〇・二％の実績を収めることができました。

### 購買事業

購買推進担当を中心に、飼料高騰への対応を重点に単味飼料から

安定基金対応の代替配合への切り替え等を積極的に推進し購入飼料費の削減に努めてまいりました。新規利用で十八戸の利用者が増えましたが、酪農中止等の影響もあり飼料供給量は七一、四九三トンと前年比九九・七％、計画比九九・二％となりました。配合飼料等利用奨励措置を拡充し、組合購買利用を推進した結果、利用奨励金総額で計画比一〇三・八％となっております。また、自給飼料増産種子利用推進対策ですが、前期供給分（一月～六月）の飼料作物種子に対しkg当たり一〇〇円、牧草種子に対しkg当たり五〇円を支払い、計画比一二〇・二％と計画を上回る助成を行い良質自給飼料増産に対し支援を図ることができました。収支は、九月以降の粗飼料価格の急激な値上げに伴う在庫メリット等により総利益では計画比一〇七・三％の実績となりました。

### 指導事業

酪農経営の安定、生乳生産管理チェックシート記帳・記録の完全定着化、生産現場の環境整備・美化を図るべく事業推進に努めました。新規補助事業の都府県酪農緊急経営強化対策事業の全戸参加に向けて指導推進を図った結果、出



荷者の九六・五%が交付金を受け経営安定の一助になりました。ヘルパー事業は、酪農情勢を反映し利用控えがありました。が傷病時ヘルパー利用が増えたことでほぼ計画通りの稼動状況となりました。乳牛導入事業は、離農対応や初妊牛を中心に組合員間導入が活発となり計画以上の取り扱いです。肉用化事業は肥育素牛が販売価格の低下傾向の中、F1の分婉が少なかったことから計画を下回り、肉用化牛はホルス去勢等の取り扱が増え計画を上回りました。また、預託事業は購入飼料価格の高騰の中、預託の有利性が浸透し計画を上回りました。

### 診療事業

繁殖検査事業は、検査巡回を拡充し検査頻度を高めた繁殖改善に努めた結果、計画を上回る検査頭数となりました。乳房炎防除事業は、プロジェクトチームが主体となり、バルク乳検査に関するリーフレットの配布や、乳質改善啓蒙活動を積極的に行い、計画を上回る検査頭数となりました。受精卵移植事業ですが、今年度から那須町共同利用模範牧場にて夏季放牧牛への移植を開始しましたが、酪農情勢の悪化等によりホルス卵

移植の減少等により移植頭数は計画を下回りました。

### 改良事業

凍結精液事業は、F1価格の下落により肉用牛精液は大幅に計画を下回り、乳用牛精液はNTP上位牛の割安な精液配布が大幅に伸びたものの、全体では計画を下回りました。受精卵配布事業は、登記可能な付加価値の高い和牛の体外受精卵や雌雄判別精液を利用した受精卵の希望があり計画を上回る実績となりました。自動登録事業の推進は、登録講習会を開催し普及推進に努めました。また、牛群検定はAT検定法の普及推進に努めた結果、新たに八十一戸が取り組むことになりました。

### 牧場事業

牧場事業は、大口預託者の減少等により、ふれあい牧場、土上平放牧場、霧降高原牧場とも預託頭数が計画を下回る実績です。受精卵移植は移植に適した頭数が減少し、実施頭数は計画を下回る実績となりました。また、牧場整備事業については、畜産担い手育成総合整備事業を推進し施設用地造成・道路整備を行いました。

## 栃木県酪農フェア2008開催

栃木県酪農協会主催の栃木県酪農フェアが十一月一日(土)に開催されました。多様な催しが行われる時節、好天にも恵まれ酪農フェアにも多数の来場者で賑わいを見せました。

第二十回栃木県ホルスタイン共進会も併催され、ハイレベルな乳



牛達が会場を闊歩しました。審査員にはオールジャパンブリーダーズサービス株式会社高橋忠司氏、栃木県酪農試験場酪農技術部長久利生正邦氏を迎え、厳正な審査により序列の決定がなされました。上位入賞牛は別表の通りです。入賞者の皆様、おめでとうございます。

また、搾乳体験や子牛の哺乳体験、子牛とのふれあいコーナーにはお子様連れの家族で賑わい、子供たちの笑顔を写真やビデオに収めるご両親、おじいちゃんおばあちゃんが沢山いらっしゃいました。各種販売コーナーも多くの人で賑わいました。例年通り栃木県酪農青年女性会議の牛乳入り豚汁は好評を博し、地元の特産品も人気を集めていました。

大勢の方々が酪農フェアに携わり、協力し、盛会のうちに閉会となりました。消費者とのふれあいも図れ、意義深い一日となりました。



# 酪農フェア



褒賞区分	名 号	出品者		組合名	備考
経産名誉賞	エスパンサ レプロン レイジー ファーストダーハムET	那須烏山市小倉	中山 真介	酪農とちぎ	(ベストアダージェット賞)
	KZMRベルシャンディー	市貝町赤羽	梶村 健介	酪農とちぎ	(ベストアダージェット賞)
未經産名誉賞	マウンテンジャムGDジェシカ	那須町大島	小松 俊介	酪農とちぎ	
経産準名誉賞	コーギーロング ロイアーロン	市貝町赤羽	梶村 健介	酪農とちぎ	
	マウンテンビュースタージョーダン	矢板市高塩	山本 訓	酪農とちぎ	
未經産準名誉賞	プラントツリーJYSアイゼンハワー	日光市小林	植木 靖	栃 酪	

各部優等一席	名 号	出品者		組合名	備考
第 1 部	KZMRローゼッタ ロイ ドレーク	市貝町赤羽	梶村 健介	酪農とちぎ	
第 2 部	ハーネスファーム セプテンパールル	那須塩原市藁沼	高塩 久	酪農とちぎ	
第 3 部	プラントツリーJYSアイゼンハワー	日光市小林	植木 靖	栃 酪	
第 4 部	マウンテンジャムGDジェシカ	那須町大島	小松 俊介	酪農とちぎ	
第 5 部	キクイチ デュークレイク ジャベラー	鹿沼市みなみ町	鹿沼農業高等学校	公共団体	
第 6 部	プラントツリーAEDジョーダン	日光市小林	植木 靖	栃 酪	
第 7 部	KZMRベル シャンディー	市貝町赤羽	梶村 健介	酪農とちぎ	
第 8 部	ロイマーチ エルトン エルス	那須塩原市箕輪	室井 忠則	酪農とちぎ	
第 9 部	PWシルキー ステイシー	矢板市塩田	和気 輝	篤根酪農	
第 10 部	エスパンサ レプロン レイジー ファーストダーハムET	那須烏山市小倉	中山 真介	酪農とちぎ	



# 東西南北

## 那須高原支所

### 栃木県消費者生活リーダー

#### 連絡協議会視察研修会

十月八日、那須高原支所において「栃木県消費者生活リーダー連絡協議会視察研修会」が開催され、県内全域から八十九名の消費者代表者が参加されました。この研修会は、牛乳の生産段階の視察研修を行い、研修で深めた正しい知識を一般の消費者に伝えることで、牛乳の消費拡大に自らが貢献したいとの目的で行われました。



研修会は本組合の概況説明に始まり、生産現場での安全・安心への取組み、クォーラステーションでの検査内

容、乳業工場においては受入時に検査を行い、後に厳格な製造管理の下で製品化された牛乳が消費者の皆さんに届いていること等を説明しました。また、牛乳（生乳一〇〇％）と乳飲料等（Ca・Fe・ビタミン等の添加）との違いを確認して頂くため、①牛乳②低脂肪牛乳③低脂肪加工乳④濃厚加工乳⑤白物乳飲料の五種類の試飲を行いました。普段スーパーなどで何気なく手に取っている『牛乳と牛乳類』の違いが、パッケージの表示によって区分されていることと味の違いを知って頂けたようです。その後、殺菌方法による味の違いはあるのか、牛の餌は全部輸入で賄われているのか等の一步踏み込んだ質疑があり、食への関心が深まる中、安全で安心な牛乳の生産が求められていることがうかがえました。さらに、飼料高騰などに伴う酪農家の窮状を訴えたところ「牛乳が飲めなくなったら大変だ。応援していただきますから頑張ってください。」等の意見も出され、価格転嫁への理解が深まりつつあることを感じました。

## 宇都宮支所

### 高根沢北部粗飼料増産利用組合発足！

飼料価格の高騰・乳価の低迷など酪農経営は大変厳しい状況にあります。また、同地域においても後継者不足・高齢化の問題・酪農戸数の減少が進行し、この状況が少しでも改善出来ればとの思いも重なり、高根沢北部地域の酪農家を設立し、粗飼料等の増産、収穫の低減を目指し活動しています。将来はコントラクターも取り組めるよう基盤作りをしていきたいと意気込んでおり、今年秋には細断型ローバレーを導入してデントコーンの効率的な収穫作業を開始しました。さらに、初めての試



みとして飼料稲ホールクロックサイレージ用を三十アールの作付けするなど、コストの低減に向けた活発な活動を行っています。

## 県南支所

### 支所全体交流会

さる十一月十二日、県南支所活動推進協議会（田村順一会長）主催による支所全体交流会が組合員とご家族、従業員の方々など計六十七名が参加し、支所に隣接する広場で盛大に開催されました。当日は非常に寒く、あいにくの天候となっていました。皆さ



# 部課だより

## 生乳販売課

生乳生産量十月度  
前年比九八・〇%

十月度の生乳生産量は一七、六三〇トン（前年比九八・〇％・累計九九・二％）となりました。支所別生乳生産量をみると、那須高原支所においては前年比九七・四％、宇都宮支所九五・二％、県南支所一〇一・五％の実績となりました。

関東においては前年比九六・〇％（累計九七・三％）となり、特定乳製品向けについては三・九〇％（前年二・九九％）と前年より加工率は増加しました、飲用牛乳向けは前年比九五・〇％となり、累計においては前年比九六・四％となりました。また、はっ酵乳向けについては前年比九六・一％となっており、全国の生乳生産量については前

年比九八・七％（累計九九・五％）でした。北海道は一〇二・〇％（累計一〇二・九％）と前年を上回る生乳生産量で推移していますが、北海道を除く（都府県）生乳生産量は九五・六％（累計九六・四％）となっております。全国の飲用牛乳向けは前年比九四・六％（累計九六・八％）となっております。

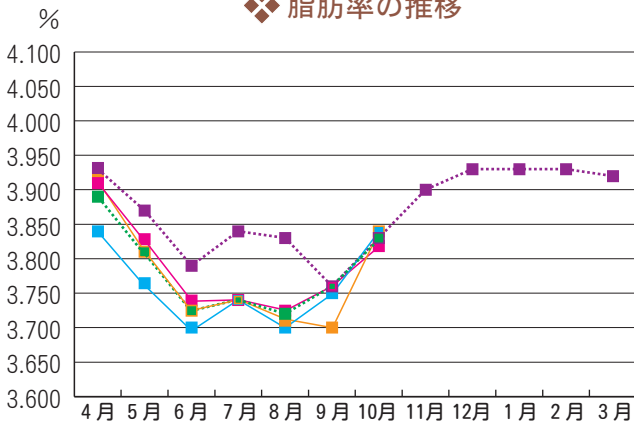
組合における乳質成績は、脂肪率が三・八三％、無脂固形分率は八・七八％となりました。細胞数については二〇・九万（前年二二・八万）となりました。

十月迄の乳量及び乳質成績は左記のとおりです。

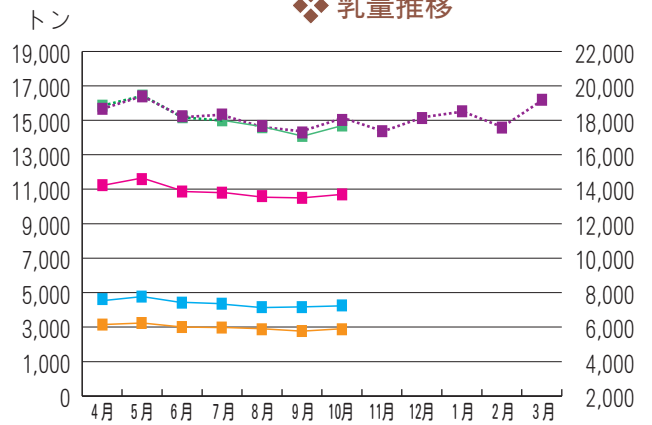
また、出荷組合員数は五九〇戸（前年六二一四戸）、学校・公共団体五戸（前年六戸）となっております。



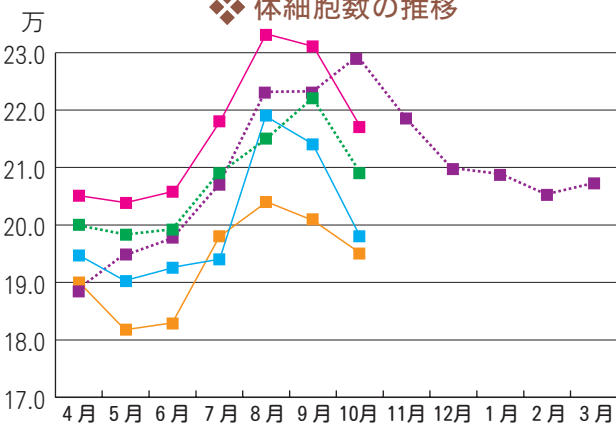
◆ 脂肪率の推移



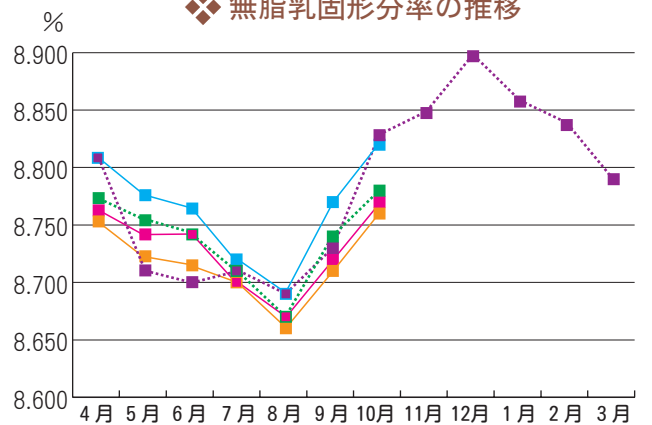
◆ 乳量推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



# 酪農部

## 乳質共励会受賞者紹介Ⅱ

今回は、羽田栄氏（矢板市長井）の乳質改善への取組みについてご紹介いたします。

羽田牧場は、本人夫婦と今年就農した後継者光論さんの三名が主力となり、総頭数六十頭（経産牛三十九頭・育成牛二十一頭）を飼養しています。牛舎は対尻式のタイスツール繋ぎ方式、牛床数四十頭で、牛舎に隣接した運動場を有効に活用し経営を行っており、草地は八百四十アールで極力自給飼料生産に努めております。

今回の受賞は、いかに搾乳作業を楽しくするか、そのためには何が問題で、何を改善すれば良いのかを夫婦で考え実行した結果と話されています。楽しい搾乳にするには、何が問題であったかは、酪農家であれば誰もが困っている乳房炎の発生で、まず取り組んだことは従業員である牛に少しでも

ストレスを軽減させる衛生的な飼養環境に取り組み、高圧スチーム洗浄機を使い牛床を洗浄、スタンションをタイストールに変更、それに穴のあいた餌槽の改修も実施しました。次に酪農セミナーで聞いてはいたが今まで搾乳方法に取り入れていなかった、プレデッピングや乳頭先端の十分な清拭を実行したことです。初めはこれまでの搾乳方法より手間がかかりましたが、生乳生産管理チェックシート



の記帳・記録と同じで慣れれば面倒なことはなく、何よりも、乳房炎が減ったことで搾乳が楽しくなると話していました。

飼料など生産資材の高騰で、生産コストは高くなり、酪農家の誰もが厳しさを増している中、廃棄する牛乳を少なくすることは、経営の無駄を無くすことになることだと改めて感じさせられた次第です。



## 11月ホクレン初妊牛市場成績

〔単位：頭、千円（税込）〕

市場名	開催日	成立頭数	平均価格	～400	401～450	451～500	501～550	551以上
十勝	11月6日	462	428	145	164	117	21	15
南北海道	11月7日	82	393	45	25	11	1	0
根室	11月13日	367	425	125	129	85	12	16
釧路	11月14日	207	400	113	58	29	3	4
豊富	11月20日	426	461	39	109	228	44	6
十勝	11月25日	568	439	105	228	189	28	18
北見	11月26日	336	439	72	135	104	17	8
根室	11月27日	403	447	62	142	165	18	16
合計		2,851	436	706	990	928	144	83
前月		2,472	421	768	1,143	432	69	60
前年同月		2,782	420	993	1,262	332	42	153

※上記金額にはE T妊牛価格を含みます。

## 家畜市場成績

平成20年11月

〔単位：円（税込）〕

市場名	種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
西那須野 25日	ホルス雄	119	58	38,850	110	22,903
	F 1 雄	63	54	133,350	31,500	89,617
	F 1 雌	52	51	64,050	13,230	38,943
館林 27日	ホルス雄	9	82	21,000	5,000	14,222
	F 1 雄	21	94	131,000	17,000	93,238
	F 1 雌	23	90	79,000	28,000	55,609



## 理事会だより

### 九月度理事会

#### 報告事項

- (一) 組合員加入について
  - (二) 資金貸付について
  - (三) 九月份生産者支払乳価について
  - (四) 乳牛飼養動態調査結果について
  - (五) 関東生乳販連情報について
  - (六) 集送乳運賃の燃料サーチャージ制導入について
- #### 協議事項
- (一) 八月度事業実績について
  - (二) 土上平放牧場及び霧降高原牧場の指定管理者受託について
  - (三) 総代選挙に伴う選挙管理者等選任について
  - (四) 本所倉庫の一部賃貸について
  - (五) 電算システムの更新契約について
  - (六) 栃木県畜産資金借入に係わる組合保証について

### 臨時理事会

#### 報告事項

- (一) 乳価交渉について
- (二) ふれあい牧場整備に係わる舗装工事の入札について

#### 協議事項

- (一) 都府県酪農緊急経営強化対策事業交付金の前渡しについて
- (二) 支払乳価について

### 十月度理事会

#### 報告事項

- (一) 資金貸付について
- (二) 十月份生産者支払乳価について
- (三) 関東生乳販連情報について

#### 協議事項

- (一) 九月度及び上半期事業実績について
- (二) 栃木県畜産連資金借入に係わる組合保証について
- (三) ふれあい牧場周年預託事業実施要領の改訂について

### 十一月度理事会

#### 報告事項

- (一) 資金貸付について
- (二) 十一月份生産者支払乳価について
- (三) 都府県酪農緊急経営強化対策事業交付金前渡しについて

#### 協議事項

- (一) 平成二十年度上半期定期監査報告について
- (二) 関東生乳販連情報について
- (三) 十月度事業実績について
- (四) 年末手当の支給について

## 那須だいき牛乳を使った新商品が発売中

栃木県内のセブン・イレブン全店にて十月末日より那須だいき牛乳を使った「ミルク珈琲プリン」、那須だいき牛乳をパン生地とクリームに練り込んだ「牛乳仕込みのホイップケーキ」の新商品が発売されました。ぜひお買い求め頂きお店の定番商品になるよう、継続的に購入活動をお願い致します。

